

JUDO FESTA 2009(九州ブロック) 報告書



報告者：大分県柔道連盟

小田 豊 昭

I 内容紹介・イベントの様子

主 催 : (財)全日本柔道連盟

主 管 : 大分県柔道連盟

後 援 : 大分県教育委員会・大分市・大分市教育委員会・大分合同新聞社
NHK大分放送局・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送

日 時 : 平成21年10月18日 (日) 12時～受付・記念撮影
13時～開会式

場 所 : 大分県立総合体育館 2F 大体育室

役員選手 : 役員: 矢嶋 明、西田孝宏、酒井英幸、大塚由香
選手: 穴井隆将、福岡政章、福見友子、穴井さやか

参加者数 : 児童・生徒: 675名
役員・引率: 63名
一般保護者: 約350名

内 容 :

◇受付・記念撮影

受付で、参加者を確認。その時にプレゼントの抽選券を同時に配布した。当初500人程度の予定であったが、675名と参加者が増えた。受付を終了した団体(道場・中学校)から会場に入場し、記念撮影を行った。4試合場に各団体がそれぞれ入り、選手四名が会場を廻って撮影を実施した。選手が他の試合場に移動してから団体が入り替わったので、スムーズに撮影会が行われた。しかし、多くの中学校や道場が参加したため、参加全部の撮影ができなかったことが残念であった。今年度全中で優勝した企救中学校を始め、小国中学校・三潴スポーツ少年団等県外からの参加者もかなりの数いた。



[参加選手との記念撮影]

◇ビデオ上映

大塚製薬(株)からの担当者が行った。運動時になぜ水分を摂取する説明をビデオやパワーポイント等を使って詳しく説明をした。説明も一つ一つゆっくりと丁寧に行ってくれたので、小学生にも充分理解ができたと思う。最後に、クイズ形式での問答もあり、参加者全員からは「はい」「はい」と大きな声が飛び、質問に答えていた。



[担当者の説明を聞く参加者]

◇開会式

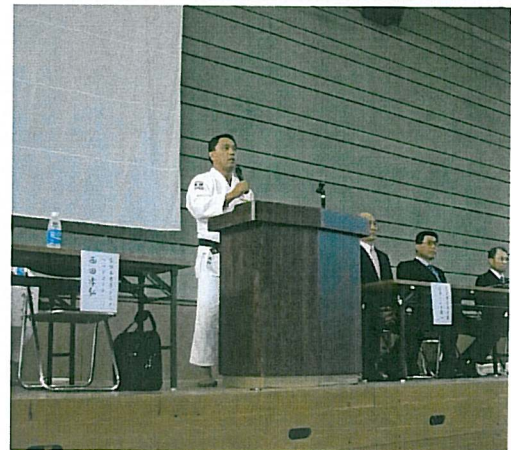
司会 小田豊昭 (大分県柔道連盟常任理事)

- ・開会宣言 北村憲二 (大分県柔道連盟理事長)
- ・会長挨拶 山中圈一 (大分県柔道連盟会長)



- ・選手、役員紹介
- ・閉式

開会式終了後、全日本シニアヘッドコーチの西田孝宏氏より参加者全員にメッセージがあった。内容は、①柔道の意義と創始者嘉納治五郎先生について②柔道を通しての人間形成、心の鍛錬とは礼儀からの2点を17分程度参加者全員に訴えてくれた。



[西田コーチの講和の様子]

◇イベント

・模擬試合（福見友子選手と穴井隆将選手） 審判 矢嶋明氏

- 福見友子 ○ 体落とし △ 近藤里沙（高田中学校）
○ 釣込腰 △ 竹尾 藍（野津高校）
○ 巴投げ △ （野津高校）

第1試合場で行われた。正面を除く三方を参加者全員が囲み盛大に行われた。先鋒は本年度57kg級で全中に出場した近藤さんである。緊張しながらの出場であったが、福見選手の組み手や体捌きで技を掛けようとするがなかなか掛けられない状態であった。そこを福見選手が、投げ込みのような体落とし



として一本をとった。続く高校生も同じであった。福見選手の上手さで技も掛けられずにきれいに投げられた。観客からは、拍手喝采であった。一流の技を実践で見られたので、参加者は大変喜んでいました。

- 穴井隆将 ○ 送り足払い △ 高木 元（野津高校）
○ 払い腰 △ 井上雅人（日本文理大学）
○ 内股 △ 工藤健太（日本文理大学）
○ 大外刈り △ 江藤大介（大分大学）
○ 体落とし △ 河野寛治（碩田中教諭）

この5人掛けでは、穴井選手が自分の得意技の全てで各相手を投げ技の披露してくれた。参加者や観客席からは、割れんばかりの拍手を寄せられた。

また、この試合のメインイベントとして穴井選手の道場と中学校の先輩で現在穴井選手の母校で理科の教諭として教鞭を執っている河野寛治先生との試合が一番盛り上がった。最後の相手は、前日穴井選手が自らの指名（道場の稽古で投げられた恨み？）で対戦が決まった。試合は、河野先生が昔のように投げようと一生懸命技を掛けるが、穴井選手を崩すことすらできない。最後は見事な体落としで投げ、昔の仇を取った。



[穴井選手の見事な体落とし]

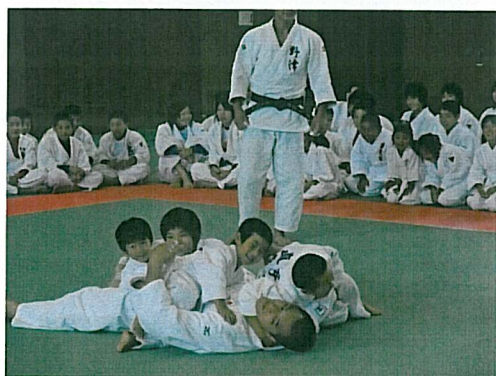
◇柔道教室

参加者を3ヶ所に分け、柔道教室を行った。指導者は、1班ー穴井隆将選手、2班ー福岡政章選手、3班ー福見友子選手と穴井さやか選手の各班に分かれた。各グループをそれぞれの選手たちが10分交代で廻り、それぞれの得意技や小中学生を相手に寝技や立ち技、トレーニングの仕方を実施した。

穴井隆将選手は、得意技の伝授と小学生6人に押さえ込まれ15秒で逃げたりするゲーム、また中学生相手に立ち技勝負を披露した。各場所で、大分県人であるが関西弁を交えたトークが好評であった。

福岡政章選手は、得意技の背負い投げを披露しながら技の入り方や留意事項を丹念に指導してくれた。また、小学生を出して自分が投げられながらの教室であったので、楽しく動機付けができた。

福見・穴井の両選手は、ゲームを取り入れた簡単な柔道修行に役に立つトレーニングを全員で行った。3会場全て違うトレーニングを行った。福見選手や穴井選手が実際に行ったので、子どもたちは動きの素早さに面食らっていた。



[穴井選手を抑え込む小学生たち]



[福岡選手：背負い投げの披露]



[バービーを行う福見選手]



[笑顔で語りかける福見選手と穴井選手]

◇トークショー及びプレゼント抽選会

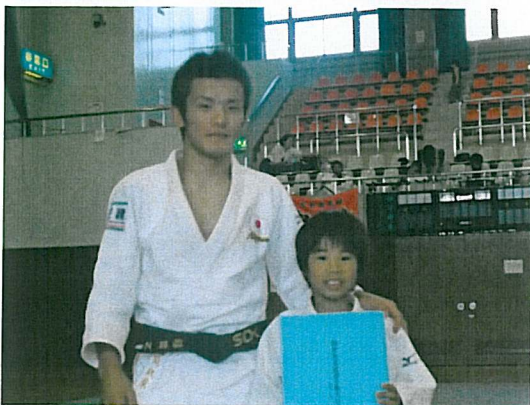
参加した強化選手を一人ずつ出して、最近の試合の結果や選手にまつわるエピソード・各選手の心情等を、矢嶋明先生のアナウンサーより上手い司会で行われた。

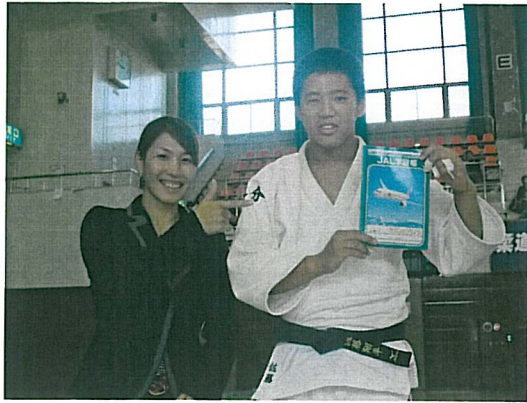
穴井隆将選手には、全日本選手権優勝や世界選手権での事を詳しく質

問をした。全日本人選手権王者になった気持ちや、世界選手権で優勝候補といわれていたが惜敗したこと等を、一般の人の気持ちになって聞いた。

福岡政章選手には、全日本体重別大会決勝で平岡選手に敗れた心境や次の目標を質問した。「自分が弱いから負けた。次はもっと練習して勝つ。」といったことが、参加した生徒の心に残った。どんなに強くても、一生懸命練習して努力をしなければ勝たないという事を教わった。

福見友子選手には、8月の世界選手権優勝の事を中心の質問であった。「しかしこの階級は、谷選手や山岸選手など強豪がひしめく階級なので世界で勝つより日本代表になることの方が難しいので、これからは…」という質問を矢嶋先生が投げかけた。これに対して、福見選手は動じることもなく、「強い選手ばかりなので、今以上練習して次のオリンピックを目指します。」ときっぱり言い切った。





II 会場全体の様子 (写真)

[会場全体]



[イベントタイトル看板]



[柔道ルネッサンス横断幕]



[立看板]



[物品販売ブース (ミズノ、早川繊維)]



[ポカリスエットブース]

子供が飲んでいる写真は係が取ってませんでした。すみません。

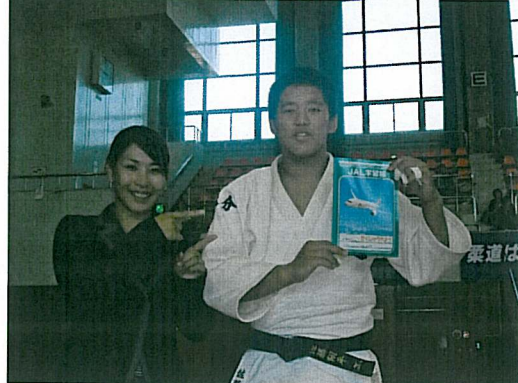


[水分補給DVDの放映風景]



[景品を渡しているところ (スポンサーごとに選手と一緒にのもの)]





Ⅲ 参加者・生徒の感想（写真）

私は、とても楽しい一日になりました。テレビでよく柔道を見るけれど、本物の選手を見たからです。特に穴井隆将選手や福見友子選手を見られたからです。世界チャンピオンが目の前にいるなんか、感動です。穴井選手と福見選手が試合をしたけれど、技にはいるのがとても早くきれいに投げたのがすごかったです。来年も、またあったらいいと思います。最後にサインをもらいに行っただけだめでした。プレゼントはサインが欲しいです。

【日田市内・小六・女子】

フェスタはみんな来ていておもしろかったです。お父さんからいろいろきいてたけれど、本当のせんしゅはすごかったです。ぼくも、あないせんしゅのようになりたいです。つよくてかっこいいからです。じゅうどうをこれからもやりたいです。

【豊後高田市内・小学校3年・男子】

「フェスタに参加して」

僕は、フェスタに参加して大変好い思い出になりました。それは、全日本チャンピオンで世界選手権三位の穴井選手と技の説明の時に組んで戦ったからです。どんなに動いて逃げても穴井選手の技は決まります。自分の体で、すごい選手と組み力の差が解りました。今の自分に何が足りないか、これから自分に何が必要か体験で

きたことが嬉しかったです。明日からの道場や学校での練習に一生懸命努力して、大分県から世界で勝つ第二の穴井隆将選手になることを誓います。全日本の皆さんありがとうございました。また僕にチャンスを下さい。まずは新人戦で優勝して、来年の県体で優勝して全中に出場し、優勝をしようと思います。

【大分市内・中学校2年・男子】

私は柔道フェスタ2009に参加して沢山の事を学びました。特に福見友子選手との3人掛けでは、選手として出場でした。担当の先生からお互いにケガが無いように言われて、世界チャンピオンにケガをさせたらと不安が一杯で今までにない緊張した。組んで何を掛けようか考えましたが、掛けようとしたら体さばきと組み手で思うように技に入れませんでした。相手を受けてかわすのではなく、掛けられる前に動きと体さばきでかわす事が、福見選手との試合で、体を通して実体験できました。また、福見選手と穴井さやか選手のトレーニングでは、私たち女子にとってはなかなかできない動きをいとも簡単にこなしていたので、全日本のトップ選手は基礎体力も備えていることも判りました。

おおくの女子選手も参加していましたが、試合をした私にしか判らないことが判ったのでこれを今後の試合に向けて取り組んでいこうと思っています。今年も全国大会に出場しましたが、すぐに負けたので、この経験を生かし来年の全国大会では、少しでも上に行けるようにしたいです。参加してくれた強化選手や先生方に感謝いたします。

【豊後高田市内・中学校2年・女子】

IV 総 評

全日本柔道連盟の主催で、10月18日(日)に参加者675名・保護者や見学者約350名・引率役員63名の参加で大分県立総合体育館に於いて、「柔道フェスタ2009」が盛大に行われた。当初の予定では500人と見学者300名程度の予想であったが、トータル1000人を超す盛大なイベントとなった。特に世界選手権直後のフェスタとあって、福見友子選手・穴井隆将選手を一目見ようと参加者の柔道に対する興味・関心が伺えた。

12時より受付と同時に記念撮影が行われた。その後、大塚製薬の水分補給についてのDVDの上映と説明があった。参加者は、真剣に聞いていた。説明の内容もわかりやすかったので、小学生も最後で真剣に聞いていた。

その後開会式では、大分県柔道連盟会長の山中圏一氏の挨拶を行い、役員・選手の紹介が行われた。開会式後、全日本柔道連盟シニアヘッドコーチの西田孝宏先生より、「柔道の意義と創始者嘉納二五郎先生について」と「柔道を通しての人間形成、心の鍛錬とは礼儀から」の話があった。また、その中には指導者・保護者に向けて「これからの柔道の指導はどうすべきか」についても講話があり、全日本のトップの指導者も危機感を持っているので、みんなで協力し『常勝ニッポン』を取り戻す事も話された。

イベントでは、最初に福見友子選手の三人掛けや穴井選手の五人掛けを行った。

この模擬試合では、メダリストの技の切れ味・華麗さ・凄さにみな感動を受けていた。その後3グループ（①穴井隆将選手、②福岡政章選手、③福見友子選手と穴井さやか選手）に分かれての、柔道教室があった。穴井選手は、独特の関西弁を交えユーモアたっぷり子どもの興味をひく指導を行っていた。福岡選手は、得意の背負い投げの伝授を時間一杯行った。女性の2名の選手は、誰もができるトレーニングを実際に実演しそのグループ全員に体験させた。参加者も、トップ選手とふれあえるとあって会場全体が盛り上がった。また、途中で保護者のお母さんが私服のまま穴井選手に対決を挑みに行ったりしてのサプライズもあった。その後は、沢山の景品が当たる抽選会である。みんな自分の抽選番号を見ながらドキドキしていた。抽選は、まず矢嶋先生が各選手にインタビューを行ってからであった。各選手のエピソードや色々な試合のときの様子を素晴らしい司会で、選手たちの心情を引き出した。4人の選手がそれぞれインタビューと抽選を行った後、リオデジャネイロ世界選手権2位で大分県柔道連盟会長の山中圏一先生が紹介され抽選を行う場面もあった。また、最後のサプライズとして、バーミンガム世界選手権金メダリストでシドニーオリンピック出場の手島桂子(旧姓 前田)さんが登場する場面もあった。

閉会式では、大分県少年柔道協会の植木会長より謝辞があった。最後に、小学校と中学校の代表が感想発表とお礼の言葉を言い締めくくった。

今回このようなイベントを大分県で行って頂いたことに致して、(財)全日本柔道連盟の関係各位に衷心よりお礼を申し上げます。本県は、若干ではありますが年々柔道人口の登録人数の減少傾向にあります。今回、日本のトップ・世界のトップ選手を派遣頂き、児童・生徒に「夢と希望」を与え、競技人口の増加も期待できるイベントになったことと確信しています。また、穴井兄弟や福岡選手のように、九州の地方から全国や世界を狙えるようになることも教えてくれたと思います。私たちは、地方の小さな柔道の灯りを絶やすことのないようここ大分の地から支えていこうと確信しました。本当にありがとうございました。

